

授業評価アンケート結果(講義・演習科目)

学 年		4 学年次	平均
学 期		前学期	
科 目 名		看護管理論	
受 講 者		97名	
回 答 数		15名	
回 答 率		15. 5%	
1	シラバスの内容は，自分の学習を進める上で役に立った。	4. 27	4. 27
2	シラバスの内容が充分満たされていた。	4. 07	4. 07
3	カリキュラムの位置づけや，他教科との関連は理解できた。	4. 13	4. 13
4	提供された資料などは適切だった。	4. 07	4. 07
5	授業に興味をそそる内容がアレンジされていた。	4. 13	4. 13
6	授業は分かりやすかった。	4. 27	4. 27
7	パワーポイント，板書やスライドは見やすかった。	4. 27	4. 27
8	成績の評価基準についてシラバスに明確にされていた。	3. 87	3. 87
9	授業には真面目な態度で参加し，意欲的に学ぼうとした。	4. 00	4. 00
10	授業の予習・復習・関連する情報の入手などに自主的に取り組んだ。	3. 93	3. 93
11	自己学習や課題には計画的に取り組むことができた。	3. 87	3. 87
12	自分なりに考えるきっかけがもてた。	4. 40	4. 40
13	授業内容に魅力や関心がもてた。	4. 13	4. 13
14	新しい知識や好奇心が得られた。	4. 07	4. 07
15	論理的に考えられるようになった。	4. 13	4. 13
16	問題発見・解決能力が得られた。	4. 20	4. 20

65. 80

65. 80

授業評価アンケート結果(講義・演習科目)

学 年		3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	平均
学 期		前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	
科 目 名		(旧カリ)治療・回復過程援助論Ⅱ	(旧カリ)療養生活支援論Ⅱ	(旧カリ)クリティカルケア論	(旧カリ)ターミナルケア論	(旧カリ)老年看護学援助論	(旧カリ)精神看護学援助論	(旧カリ)地域看護学援助論	医療英語	手話	中国語	スペイン語	文化人類学	経済学	家族社会学	社会福祉学	公衆衛生看護学Ⅱ	地域・在宅看護論Ⅰ	健康教育論	成人看護学Ⅱ(急性期)	成人看護学Ⅲ(慢性期)	精神看護学Ⅱ	クリティカルケア論	ターミナルケア論	リハビリテーションケア論	看護研究方法論	
受 講 者		6名	98名	6名	8名	98名	6名	98名	31名	15名	27名	19名	88名	2名	0名	91名	91名	91名	15名	91名	91名	91名	91名	91名	91名	97名	
回 答 数		3名	78名	1名	5名	75名	1名	75名	7名	7名	17名	17名	27名	2名	0名	14名	23名	15名	6名	29名	26名	16名	17名	16名	12名	51名	
回 答 率		50.0%	79.6%	16.7%	62.5%	76.5%	16.7%	76.5%	22.6%	46.7%	63.0%	89.5%	30.7%	100.0%	0.0%	15.4%	25.3%	16.5%	40.0%	31.9%	28.6%	17.6%	18.7%	17.6%	13.2%	52.6%	
1	シラバスの内容は、自分の学習を進める上で役に立った。	4.00	4.13	4.00	4.00	4.39	4.00	4.25	4.00	4.43	4.59	4.65	4.30	4.00	0.00	3.79	4.26	4.00	4.33	4.24	3.96	3.81	4.18	3.88	3.83	4.00	3.96
2	シラバスの内容が充分満たされていた。	4.33	4.22	4.00	4.20	4.36	4.00	4.31	4.00	4.57	4.59	4.76	4.26	4.00	0.00	4.00	4.26	4.07	4.33	4.28	4.08	3.81	4.06	4.00	4.08	4.16	4.03
3	カリキュラムの位置づけや、他教科との関連は理解できた。	4.33	4.29	4.00	4.00	4.43	4.00	4.29	4.29	4.57	4.47	4.59	4.15	4.00	0.00	3.93	4.30	4.13	4.50	4.38	4.12	3.88	4.24	3.94	3.75	4.08	4.03
4	提供された資料などは適切だった。	4.33	4.28	5.00	3.60	4.29	5.00	4.24	4.00	4.57	4.59	4.94	4.37	4.50	0.00	3.86	4.26	3.80	4.50	4.41	4.15	3.81	4.12	3.44	3.75	4.18	4.08
5	授業に興味をそそる内容がアレンジされていた。	4.67	4.36	4.00	3.80	4.33	4.00	4.15	4.29	4.43	4.71	4.82	4.30	4.50	0.00	3.71	4.13	3.93	4.33	4.21	4.15	3.81	4.06	3.69	3.67	3.88	4.00
6	授業は分かりやすかった。	4.00	4.29	4.00	3.60	4.36	4.00	4.24	4.00	4.57	4.82	5.00	4.44	4.50	0.00	3.71	4.17	3.93	4.17	4.24	4.04	3.81	4.12	3.63	3.67	4.00	3.97
7	パワーポイント、板書やスライドは見やすかった。	4.33	4.35	5.00	3.40	4.39	5.00	4.27	4.14	4.43	4.53	4.94	4.44	5.00	0.00	3.79	4.26	3.80	4.33	4.31	4.19	3.81	3.94	3.31	3.58	4.20	4.07
8	成績の評価基準についてシラバスに明確にされていた。	4.33	4.33	4.00	4.00	4.32	4.00	4.28	4.29	4.57	4.53	4.88	4.41	4.50	0.00	3.93	4.39	4.07	4.33	4.21	4.15	4.00	4.06	4.00	4.00	4.20	4.07
9	授業には真面目な態度で参加し、意欲的に学ぼうとした。	4.00	4.36	4.00	4.20	4.35	5.00	4.27	4.14	4.57	4.71	5.00	4.22	5.00	0.00	4.14	4.43	4.27	4.50	4.38	4.12	4.06	4.18	4.00	3.92	4.02	4.15
10	授業の予習・復習・関連する情報の入手などに自主的に取り組んだ。	4.00	4.23	4.00	3.40	4.39	5.00	4.20	4.29	4.43	4.59	4.82	4.00	5.00	0.00	3.93	4.22	3.93	4.50	4.31	4.00	4.00	3.88	3.56	3.83	3.84	4.01
11	自己学習や課題には計画的に取り組むことができた。	3.67	4.17	2.00	2.60	4.23	5.00	4.17	4.43	4.29	4.59	4.71	4.15	5.00	0.00	3.71	4.39	4.00	4.50	4.17	3.92	3.88	4.12	3.75	3.83	4.00	3.89
12	自分なりに考えるきっかけがもてた。	4.33	4.32	4.00	3.60	4.36	4.00	4.23	4.14	4.43	4.47	4.65	4.30	5.00	0.00	3.79	4.30	4.20	4.50	4.24	4.08	3.88	4.24	4.13	3.83	4.08	4.04
13	授業内容に魅力や関心がもてた。	4.00	4.28	5.00	4.00	4.28	4.00	4.19	4.00	4.57	4.59	4.94	4.48	5.00	0.00	3.57	4.13	4.00	4.33	4.31	3.92	3.81	4.24	3.88	3.67	3.96	4.05
14	新しい知識や好奇心が得られた。	4.33	4.38	4.00	3.00	4.33	4.00	4.20	4.00	4.57	4.76	4.88	4.44	4.50	0.00	3.64	4.17	4.20	4.33	4.24	4.15	3.81	4.24	3.94	3.75	3.82	3.99
15	論理的に考えられるようになった。	4.00	4.13	3.00	2.60	4.17	4.00	4.12	3.86	4.57	4.53	4.47	3.96	5.00	0.00	3.64	4.26	4.13	4.33	4.28	4.00	3.81	4.29	3.81	3.58	3.82	3.85
16	問題発見・解決能力が得られた。	4.00	4.19	4.00	2.80	4.27	4.00	4.17	4.00	4.57	4.53	4.53	4.15	5.00	0.00	3.64	4.35	4.07	4.33	4.17	4.04	3.69	3.94	3.81	3.92	3.67	3.91
		66.67	68.32	64.00	56.80	69.24	69.00	67.57	65.87	72.14	73.59	76.58	68.37	74.50	0.00	60.78	68.28	64.53	70.14	68.38	65.08	61.68	65.91	60.77	60.67	63.91	64.11

授業評価アンケート結果(講義・演習科目)

学 年		2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	平均
学 期		前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	
科 目 名		薬理学	病態治療学Ⅰ	病態治療学Ⅱ	疫学	基礎看護技術Ⅱ	感染看護学Ⅱ	看護過程論	災害看護学	母性看護学Ⅰ	小児看護学Ⅰ	老年看護学Ⅰ	家族看護学	
受 講 者		104名	103名	103名	102名	101名	102名	102名	102名	107名	106名	103名	105名	
回 答 数		35名	14名	13名	44名	16名	28名	65名	30名	27名	55名	62名	24名	
回 答 率		33. 7%	13. 6%	12. 6%	43. 1%	15. 8%	27. 5%	63. 7%	29. 4%	25. 2%	51. 9%	60. 2%	22. 9%	
1	シラバスの内容は、自分の学習を進める上で役に立った。	4. 26	3. 86	3. 92	4. 30	4. 44	4. 46	4. 51	4. 40	4. 37	4. 02	4. 18	4. 38	4. 26
2	シラバスの内容が充分満たされていた。	4. 20	3. 79	3. 77	4. 30	4. 44	4. 43	4. 55	4. 50	4. 52	4. 05	4. 06	4. 46	4. 26
3	カリキュラムの位置づけや、他教科との関連は理解できた。	4. 34	4. 07	4. 08	4. 23	4. 44	4. 43	4. 71	4. 50	4. 48	4. 00	3. 97	4. 42	4. 31
4	提供された資料などは適切だった。	4. 09	3. 57	3. 54	4. 25	4. 38	4. 36	4. 58	4. 47	4. 48	4. 00	3. 87	4. 33	4. 16
5	授業に興味をそそる内容がアレンジされていた。	4. 20	3. 57	3. 38	4. 11	4. 44	4. 29	4. 49	4. 40	4. 59	3. 84	3. 71	4. 33	4. 11
6	授業は分かりやすかった。	4. 09	3. 50	3. 38	4. 11	4. 44	4. 46	4. 48	4. 37	4. 56	3. 89	3. 74	4. 29	4. 11
7	パワーポイント、板書やスライドは見やすかった。	4. 11	3. 64	3. 69	4. 30	4. 44	4. 43	4. 52	4. 43	4. 63	3. 95	3. 85	4. 50	4. 21
8	成績の評価基準についてシラバスに明確にされていた。	4. 20	4. 00	4. 08	4. 36	4. 63	4. 50	4. 57	4. 37	4. 56	4. 15	4. 06	4. 46	4. 33
9	授業には真面目な態度で参加し、意欲的に学ぼうとした。	4. 23	4. 00	3. 92	4. 11	4. 50	4. 21	4. 58	4. 53	4. 52	4. 22	4. 06	4. 29	4. 26
10	授業の予習・復習・関連する情報の入手などに自主的に取り組んだ。	4. 09	3. 64	3. 62	4. 09	4. 50	4. 25	4. 55	4. 50	4. 48	4. 02	3. 98	4. 29	4. 17
11	自己学習や課題には計画的に取り組むことができた。	4. 17	3. 79	3. 85	4. 00	4. 38	4. 11	4. 46	4. 50	4. 41	3. 89	3. 95	4. 33	4. 15
12	自分なりに考えるきっかけがもてた。	4. 29	3. 79	3. 85	4. 18	4. 38	4. 46	4. 65	4. 50	4. 44	4. 11	3. 98	4. 42	4. 25
13	授業内容に魅力や関心がもてた。	4. 37	3. 64	3. 46	3. 91	4. 56	4. 46	4. 52	4. 47	4. 52	3. 98	3. 79	4. 38	4. 17
14	新しい知識や好奇心が得られた。	4. 40	4. 07	3. 85	4. 11	4. 56	4. 54	4. 63	4. 57	4. 59	4. 13	3. 97	4. 38	4. 32
15	論理的に考えられるようになった。	4. 09	3. 79	3. 77	4. 11	4. 38	4. 14	4. 46	4. 33	4. 48	3. 93	3. 94	4. 29	4. 14
16	問題発見・解決能力が得られた。	4. 14	3. 79	3. 69	4. 02	4. 44	4. 21	4. 49	4. 50	4. 52	3. 95	3. 90	4. 25	4. 16
		67. 27	60. 51	59. 85	66. 49	71. 35	69. 74	72. 75	71. 34	72. 15	64. 13	63. 01	69. 80	67. 37

授業評価アンケート結果(講義・演習科目)

学 年		4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	平均
学 期		後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	
科 目 名		災害看護学	看護総合	卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ	
受 講 者		99名	98名	14名	8名	8名	7名	6名	8名	11名	12名	5名	8名	12名	
回 答 数		70名	89名	5名	2名	4名	3名	4名	6名	2名	8名	4名	5名	4名	
回 答 率		70. 7%	90. 8%	35. 7%	25. 0%	50. 0%	42. 9%	66. 7%	75. 0%	18. 2%	66. 7%	80. 0%	62. 5%	33. 3%	
1	シラバスの内容は、自分の学習を進める上で役に立った。	4. 23	4. 33	4. 60	3. 50	4. 25	4. 67	4. 50	4. 50	4. 00	4. 38	4. 75	4. 80	4. 50	4. 38
2	シラバスの内容が充分満たされていた。	4. 27	4. 29	4. 60	3. 50	4. 25	4. 67	4. 50	4. 50	4. 50	4. 38	4. 75	4. 60	4. 50	4. 41
3	カリキュラムの位置づけや、他教科との関連は理解できた。	4. 30	4. 39	4. 60	3. 50	4. 75	4. 67	4. 25	4. 67	4. 50	4. 50	4. 25	4. 40	4. 50	4. 41
4	提供された資料などは適切だった。	4. 29	4. 30	4. 80	3. 00	4. 50	5. 00	5. 00	4. 67	4. 00	4. 75	4. 75	4. 80	4. 50	4. 49
5	授業に興味をそそる内容がアレンジされていた。	4. 31	4. 18	4. 60	2. 50	4. 50	4. 67	4. 50	4. 67	3. 50	4. 25	4. 25	4. 80	4. 50	4. 25
6	授業は分かりやすかった。	4. 34	4. 25	4. 60	2. 50	4. 75	5. 00	4. 50	4. 67	3. 50	4. 38	4. 50	4. 80	4. 50	4. 33
7	パワーポイント、板書やスライドは見やすかった。	4. 13	4. 24	4. 80	3. 00	4. 25	5. 00	4. 50	4. 67	4. 00	4. 13	4. 25	4. 80	4. 50	4. 33
8	成績の評価基準についてシラバスに明確にされていた。	4. 21	4. 27	4. 60	3. 00	4. 25	5. 00	4. 50	4. 83	5. 00	4. 75	4. 50	4. 80	4. 50	4. 48
9	授業には真面目な態度で参加し、意欲的に学ぼうとした。	4. 31	4. 44	4. 60	5. 00	4. 50	4. 67	4. 50	4. 83	2. 50	4. 63	4. 25	5. 00	4. 00	4. 40
10	授業の予習・復習・関連する情報の入手などに自主的に取り組んだ。	4. 23	4. 38	4. 60	5. 00	4. 50	4. 67	4. 50	4. 50	4. 00	4. 38	4. 25	5. 00	4. 00	4. 46
11	自己学習や課題には計画的に取り組むことができた。	4. 26	4. 45	4. 40	5. 00	4. 25	4. 33	4. 50	4. 17	1. 50	4. 50	4. 25	4. 80	3. 75	4. 17
12	自分なりに考えるきっかけがもてた。	4. 46	4. 40	4. 80	4. 50	4. 75	5. 00	4. 75	4. 67	4. 00	4. 88	4. 50	4. 80	4. 25	4. 60
13	授業内容に魅力や関心がもてた。	4. 43	4. 27	4. 80	3. 00	4. 50	5. 00	4. 50	4. 83	4. 50	4. 50	4. 00	4. 80	4. 25	4. 41
14	新しい知識や好奇心が得られた。	4. 34	4. 28	4. 80	4. 50	4. 75	5. 00	4. 75	5. 00	4. 50	4. 50	4. 50	4. 80	4. 50	4. 63
15	論理的に考えられるようになった。	4. 20	4. 13	4. 60	4. 00	4. 25	4. 67	4. 50	4. 83	3. 50	4. 50	4. 25	4. 67	4. 25	4. 33
16	問題発見・解決能力が得られた。	4. 21	4. 18	4. 60	3. 50	4. 25	5. 00	4. 50	4. 83	4. 00	4. 38	4. 25	4. 67	4. 50	4. 37
		68. 53	68. 79	74. 40	59. 00	71. 25	77. 00	72. 75	74. 83	61. 50	71. 75	70. 25	76. 33	69. 50	70. 45

授業評価アンケート結果(講義・演習科目)

学 年		3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	平均
学 期		後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	
科 目 名		(旧カリ)母性看護学援助論	(旧カリ)小児看護学援助論	(旧カリ)在宅看護学援助論	地域・在宅看護論Ⅱ	保健指導論(保健師)	保健指導論(看護師)	実践看護英語	国際看護学Ⅰ	卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ	
受 講 者		6名	6名	6名	91名	15名	76名	91名	91名	8名	7名	9名	8名	8名	
回 答 数		3名	4名	4名	10名	9名	27名	32名	14名	7名	3名	7名	3名	4名	
回 答 率		50. 0%	66. 7%	66. 7%	11. 0%	60. 0%	35. 5%	35. 2%	15. 4%	87. 5%	42. 9%	77. 8%	37. 5%	50. 0%	
1	シラバスの内容は、自分の学習を進める上で役に立った。	4. 33	4. 75	4. 50	3. 30	4. 44	3. 96	3. 72	4. 07	4. 14	4. 33	4. 00	3. 33	3. 75	4. 05
2	シラバスの内容が充分満たされていた。	4. 00	4. 50	4. 75	3. 40	4. 44	4. 15	3. 72	4. 00	4. 14	4. 33	4. 00	3. 67	3. 75	4. 07
3	カリキュラムの位置づけや、他教科との関連は理解できた。	4. 00	4. 50	4. 25	3. 40	4. 44	4. 07	3. 56	3. 93	4. 29	4. 00	4. 00	4. 33	3. 75	4. 04
4	提供された資料などは適切だった。	4. 00	4. 25	4. 25	3. 40	4. 44	4. 00	3. 59	4. 07	4. 43	4. 33	3. 86	4. 67	4. 00	4. 10
5	授業に興味をそそる内容がアレンジされていた。	3. 33	4. 50	4. 50	3. 20	4. 33	3. 78	3. 69	3. 93	4. 14	4. 33	3. 86	4. 67	4. 00	4. 02
6	授業は分かりやすかった。	3. 67	4. 75	4. 25	3. 40	4. 33	3. 93	3. 59	4. 00	4. 14	4. 33	4. 43	4. 67	4. 50	4. 15
7	パワーポイント、板書やスライドは見やすかった。	4. 33	4. 25	4. 25	3. 20	4. 33	4. 04	3. 72	3. 93	4. 14	4. 33	4. 43	4. 33	3. 75	4. 08
8	成績の評価基準についてシラバスに明確にされていた。	4. 67	4. 25	4. 75	3. 40	4. 56	4. 07	3. 88	3. 93	4. 29	4. 33	4. 14	4. 00	4. 00	4. 17
9	授業には真面目な態度で参加し、意欲的に学ぼうとした。	4. 67	4. 00	4. 50	3. 50	4. 56	4. 07	3. 84	3. 93	4. 29	5. 00	4. 14	4. 33	4. 00	4. 22
10	授業の予習・復習・関連する情報の入手などに自主的に取り組んだ。	3. 33	4. 25	4. 25	3. 20	4. 44	3. 81	3. 63	3. 86	4. 14	4. 67	4. 14	4. 67	4. 00	4. 03
11	自己学習や課題には計画的に取り組むことができた。	4. 33	4. 00	4. 25	3. 60	4. 33	3. 93	3. 69	3. 79	4. 14	4. 67	4. 00	4. 67	4. 00	4. 11
12	自分なりに考えるきっかけがもてた。	4. 67	4. 25	4. 25	3. 60	4. 33	3. 81	3. 78	4. 14	4. 57	5. 00	4. 71	4. 67	5. 00	4. 37
13	授業内容に魅力や関心がもてた。	4. 33	4. 25	4. 50	3. 70	4. 56	3. 81	3. 66	4. 14	4. 29	5. 00	4. 14	4. 67	5. 00	4. 31
14	新しい知識や好奇心が得られた。	4. 33	4. 50	4. 75	3. 60	4. 44	3. 89	3. 63	3. 93	4. 14	5. 00	4. 29	4. 33	5. 00	4. 29
15	論理的に考えられるようになった。	3. 33	3. 50	4. 00	3. 50	4. 33	3. 70	3. 34	3. 71	4. 29	4. 67	4. 14	4. 67	4. 00	3. 94
16	問題発見・解決能力が得られた。	4. 00	4. 25	4. 50	3. 40	4. 33	3. 96	3. 34	3. 79	4. 14	4. 67	4. 29	4. 33	5. 00	4. 15
		65. 33	68. 75	70. 50	54. 80	70. 67	63. 00	58. 38	63. 14	67. 71	73. 00	66. 57	70. 00	67. 50	66. 10

授業評価アンケート結果(講義・演習科目)

学 年		2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	平均
学 期		後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	
科 目 名		病態 治療学Ⅲ	保健医療福 祉行政論Ⅰ	公衆衛生 看護学Ⅰ	学校看護学	産業看護学	母性 看護学Ⅱ	小児 看護学Ⅱ	老年 看護学Ⅱ	成人 看護学Ⅰ	精神 看護学Ⅰ	チーム医療 論	
受 講 者		100名	103名	100名	25名	100名	101名	103名	102名	101名	100名	102名	
回 答 数		12名	32名	22名	3名	20名	10名	16名	44名	23名	17名	27名	
回 答 率		12. 0%	31. 1%	22. 0%	12. 0%	20. 0%	9. 9%	15. 5%	43. 1%	22. 8%	17. 0%	26. 5%	
1	シラバスの内容は、自分の学習を進める 上で役に立った。	4. 50	4. 25	4. 27	5. 00	4. 15	4. 40	4. 25	4. 25	4. 22	4. 24	4. 37	4. 35
2	シラバスの内容が充分満たされていた。	4. 25	4. 31	4. 36	5. 00	4. 20	4. 50	4. 25	4. 18	4. 22	4. 29	4. 30	4. 35
3	カリキュラムの位置づけや、他教科との 関連は理解できた。	4. 33	4. 34	4. 41	5. 00	4. 15	4. 30	4. 44	4. 30	4. 26	4. 18	4. 33	4. 37
4	提供された資料などは適切だった。	4. 33	4. 47	4. 32	5. 00	4. 10	4. 40	4. 25	4. 30	3. 96	4. 00	4. 41	4. 32
5	授業に興味をそそる内容がアレンジされ ていた。	4. 08	4. 28	4. 23	5. 00	4. 15	4. 20	4. 44	4. 00	4. 09	3. 94	4. 67	4. 28
6	授業は分かりやすかった。	4. 25	4. 34	4. 36	5. 00	4. 00	4. 50	4. 56	4. 00	4. 13	4. 06	4. 44	4. 33
7	パワーポイント、板書やスライドは見や すかった。	4. 50	4. 19	4. 36	5. 00	4. 05	4. 50	4. 75	4. 27	3. 74	4. 29	4. 44	4. 37
8	成績の評価基準についてシラバスに明確 にされていた。	4. 58	4. 38	4. 41	5. 00	4. 15	4. 60	4. 44	4. 30	3. 91	4. 12	4. 19	4. 37
9	授業には真面目な態度で参加し、意欲的 に学ぼうとした。	4. 42	4. 41	4. 32	5. 00	4. 05	4. 40	4. 69	4. 39	4. 13	4. 41	4. 74	4. 45
10	授業の予習・復習・関連する情報の入手 などに自主的に取り組んだ。	4. 33	4. 19	4. 09	5. 00	3. 90	4. 40	4. 63	4. 30	4. 04	4. 29	4. 44	4. 33
11	自己学習や課題には計画的に取り組むこ とができた。	4. 42	4. 16	4. 14	5. 00	3. 85	4. 00	4. 44	4. 18	3. 91	4. 24	4. 52	4. 26
12	自分なりに考えるきっかけがもてた。	4. 33	4. 28	4. 32	5. 00	4. 00	4. 40	4. 44	4. 34	4. 09	4. 41	4. 63	4. 39
13	授業内容に魅力や関心がもてた。	4. 42	4. 16	4. 23	5. 00	3. 95	4. 30	4. 38	4. 27	4. 13	4. 35	4. 63	4. 35
14	新しい知識や好奇心が得られた。	4. 42	4. 38	4. 27	5. 00	4. 05	4. 40	4. 75	4. 34	4. 09	4. 35	4. 52	4. 41
15	論理的に考えられるようになった。	4. 33	4. 19	4. 23	5. 00	4. 05	4. 40	4. 25	4. 09	3. 91	4. 29	4. 41	4. 29
16	問題発見・解決能力が得られた。	4. 50	4. 25	4. 27	5. 00	3. 95	4. 40	4. 38	4. 11	3. 96	4. 29	4. 59	4. 34
		70. 00	68. 56	68. 59	80. 00	64. 75	70. 10	71. 31	67. 61	64. 78	67. 76	71. 63	69. 56

授業評価アンケート結果(講義・演習科目)

学 年		1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	平均
学 期		後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	
科 目 名		英語Ⅱ	教育学	音楽	統計学	情報科学Ⅱ	形態機能学Ⅱ	生化学	感染・免疫学	病理学	公衆衛生学	看護学原論Ⅱ	看護倫理	ヘルスアセスメント	基礎看護技術Ⅰ	感染看護学Ⅰ	生涯発達論	
受 講 者		133名	80名	50名	131名	131名	130名	132名	131名	131名	130名	130名	130名	132名	132名	130名	130名	
回 答 数		27名	63名	40名	82名	86名	42名	61名	53名	103名	94名	95名	98名	106名	100名	99名	82名	
回 答 率		20. 3%	78. 8%	80. 0%	62. 6%	65. 6%	32. 3%	46. 2%	40. 5%	78. 6%	72. 3%	73. 1%	75. 4%	80. 3%	75. 8%	76. 2%	63. 1%	
1	シラバスの内容は、自分の学習を進める上で役に立った。	4. 19	4. 17	4. 45	4. 05	4. 15	4. 33	4. 00	4. 26	4. 48	4. 39	4. 38	4. 41	4. 52	4. 53	4. 37	4. 21	4. 31
2	シラバスの内容が充分満たされていた。	4. 33	4. 22	4. 45	4. 02	4. 10	4. 40	3. 90	4. 28	4. 49	4. 36	4. 33	4. 41	4. 53	4. 57	4. 41	4. 21	4. 31
3	カリキュラムの位置づけや、他教科との関連は理解できた。	4. 33	4. 27	4. 40	4. 09	4. 05	4. 48	4. 05	4. 40	4. 60	4. 36	4. 47	4. 44	4. 62	4. 70	4. 43	4. 27	4. 37
4	提供された資料などは適切だった。	4. 30	4. 24	4. 45	4. 01	4. 01	4. 52	3. 85	4. 26	4. 48	4. 27	4. 41	4. 46	4. 55	4. 64	4. 38	4. 12	4. 31
5	授業に興味をそそる内容がアレンジされていた。	4. 22	4. 24	4. 55	3. 93	4. 03	4. 36	3. 84	4. 21	4. 42	4. 26	4. 36	4. 42	4. 47	4. 55	4. 36	4. 10	4. 27
6	授業は分かりやすかった。	4. 37	4. 32	4. 50	3. 88	3. 99	4. 29	3. 70	4. 17	4. 48	4. 29	4. 38	4. 42	4. 57	4. 63	4. 45	4. 09	4. 28
7	パワーポイント、板書やスライドは見やすかった。	4. 33	4. 29	4. 43	4. 01	4. 07	4. 36	3. 79	4. 15	4. 53	4. 33	4. 41	4. 42	4. 54	4. 62	4. 45	4. 09	4. 30
8	成績の評価基準についてシラバスに明確にされていた。	4. 22	4. 37	4. 50	4. 06	4. 29	4. 48	4. 05	4. 17	4. 48	4. 33	4. 39	4. 47	4. 56	4. 56	4. 41	4. 22	4. 35
9	授業には真面目な態度で参加し、意欲的に学ぼうとした。	4. 48	4. 48	4. 53	4. 18	4. 28	4. 43	4. 18	4. 32	4. 50	4. 34	4. 38	4. 50	4. 61	4. 66	4. 47	4. 21	4. 41
10	授業の予習・復習・関連する情報の入手などに自主的に取り組んだ。	4. 37	4. 37	4. 45	4. 13	4. 30	4. 36	4. 08	4. 25	4. 41	4. 28	4. 37	4. 48	4. 59	4. 63	4. 38	4. 18	4. 35
11	自己学習や課題には計画的に取り組むことができた。	4. 37	4. 38	4. 55	4. 06	4. 31	4. 24	4. 05	4. 25	4. 33	4. 29	4. 36	4. 52	4. 58	4. 67	4. 39	4. 20	4. 35
12	自分なりに考えるきっかけがもてた。	4. 26	4. 37	4. 50	4. 01	4. 17	4. 45	4. 05	4. 26	4. 45	4. 36	4. 43	4. 50	4. 58	4. 69	4. 39	4. 23	4. 36
13	授業内容に魅力や関心がもてた。	4. 26	4. 29	4. 45	3. 99	4. 10	4. 36	3. 85	4. 17	4. 51	4. 31	4. 39	4. 48	4. 58	4. 64	4. 43	4. 18	4. 31
14	新しい知識や好奇心が得られた。	4. 37	4. 27	4. 50	3. 96	4. 09	4. 38	4. 00	4. 23	4. 53	4. 36	4. 37	4. 46	4. 62	4. 62	4. 38	4. 21	4. 34
15	論理的に考えられるようになった。	4. 22	4. 27	4. 33	3. 88	4. 01	4. 31	3. 89	4. 09	4. 33	4. 26	4. 34	4. 42	4. 39	4. 52	4. 28	4. 10	4. 23
16	問題発見・解決能力が得られた。	4. 30	4. 21	4. 40	3. 93	4. 09	4. 33	3. 92	4. 21	4. 38	4. 30	4. 39	4. 44	4. 51	4. 60	4. 38	4. 13	4. 28
		68. 93	68. 73	71. 43	64. 20	66. 07	70. 07	63. 20	67. 68	71. 38	69. 07	70. 15	71. 23	72. 82	73. 83	70. 42	66. 73	69. 12

授業評価アンケート結果(実習科目)

学 年			4 学年次	4 学年次	4 学年次	平均
学 期			前学期	前学期	前学期	
科 目 名			母性看護学 実習	小児看護学 実習	在宅看護学 実習	
受 講 者			98名	98名	97名	
回 答 数			65名	55名	20名	
回 答 率			66. 3%	56. 1%	20. 6%	
学 生 の 自 己 評 価	1	実習に積極的に出席した。	4. 69	4. 69	4. 85	4. 74
	2	実習の事前学習・振り返りに意欲的に取り組んだ。	4. 37	4. 42	4. 65	4. 48
	3	実習には自主的に取り組んだ。	4. 54	4. 71	4. 70	4. 65
	4	記録物・提出物の提出期限を守った。	4. 62	4. 67	4. 95	4. 75
	5	看護倫理に基づいた行動をとった。	4. 60	4. 69	4. 75	4. 68
実 習 方 法 ・ 内 容 へ の 評 価	6	実習オリエンテーションは実習に役立った。	4. 35	4. 40	4. 45	4. 40
	7	実習要項は自分の学習を進める上で役に立った。	4. 31	4. 53	4. 65	4. 49
	8	成績評価の基準について明確な説明があった。	4. 37	4. 35	4. 40	4. 37
	9	実習内容は看護への興味や関心を深めるものであった。	4. 55	4. 60	4. 70	4. 62
	10	実習は学生の理解度に応じて進められていた。	4. 45	4. 38	4. 55	4. 46
	11	教員は学生の主体性を尊重していた。	4. 60	4. 55	4. 50	4. 55
	12	教員から効果的な指導を受けることができた。	4. 65	4. 56	4. 40	4. 54
	13	臨床指導者から効果的な指導を受けることができた。	4. 62	4. 40	4. 65	4. 56
	14	実習場所は実習に適した環境であった。	4. 58	4. 40	4. 60	4. 53
	15	授業で学んだ内容が実習によってより深く理解できた。	4. 55	4. 60	4. 65	4. 60
	16	実習を通して今後の課題が明確になった。	4. 34	4. 42	4. 50	4. 42
	17	実習に関する記録物・提出物等の量は適切であった。	3. 74	4. 04	4. 60	4. 12
	18	実習は有意義であった。	4. 55	4. 60	4. 65	4. 60
			80. 48	81. 00	83. 20	81. 56

Ⅱ この実習を通して得たもの

新しい知識	86. 15%	85. 45%	85. 00%	85. 54%
知的好奇心(関心)	53. 85%	61. 82%	65. 00%	60. 22%
物事を見る視野	55. 38%	54. 55%	55. 00%	54. 98%
課題発見・解決能力	43. 08%	54. 55%	45. 00%	47. 54%
論理的思考能力	13. 85%	34. 55%	45. 00%	31. 13%
記述・表現・プレゼンテーション能力	13. 85%	20. 00%	40. 00%	24. 62%
教員や学生との交流	49. 23%	47. 27%	50. 00%	48. 83%
看護の実践能力	49. 23%	49. 09%	35. 00%	44. 44%
医療者・専門職者としての態度	32. 31%	41. 82%	35. 00%	36. 38%
看護倫理に基づいた行動	32. 31%	40. 00%	45. 00%	39. 10%
その他	0. 00%	1. 82%	0. 00%	0. 61%

授業評価アンケート結果(実習科目)

学 年			3 学年次	平均
学 期			前学期	
科 目 名			老年看護学 実習Ⅰ	
受 講 者			6名	
回 答 数			6名	
回 答 率			100.0%	
学 生 の 自 己 評 価	1	実習に積極的に出席した。	5.00	5.00
	2	実習の事前学習・振り返りに意欲的に取り組んだ。	4.50	4.50
	3	実習には自主的に取り組んだ。	4.83	4.83
	4	記録物・提出物の提出期限を守った。	5.00	5.00
	5	看護倫理に基づいた行動をとった。	5.00	5.00
実 習 方 法 ・ 内 容 へ の 評 価	6	実習オリエンテーションは実習に役立った。	4.67	4.67
	7	実習要項は自分の学習を進める上で役に立った。	5.00	5.00
	8	成績評価の基準について明確な説明があった。	5.00	5.00
	9	実習内容は看護への興味や関心を深めるものであった。	4.67	4.67
	10	実習は学生の理解度に応じて進められていた。	4.83	4.83
	11	教員は学生の主体性を尊重していた。	4.83	4.83
	12	教員から効果的な指導を受けることができた。	4.83	4.83
	13	臨床指導者から効果的な指導を受けることができた。	4.83	4.83
	14	実習場所は実習に適した環境であった。	5.00	5.00
	15	授業で学んだ内容が実習によってより深く理解できた。	4.83	4.83
	16	実習を通して今後の課題が明確になった。	4.83	4.83
	17	実習に関する記録物・提出物等の量は適切であった。	4.50	4.50
	18	実習は有意義であった。	5.00	5.00
			87.17	87.17

Ⅱ この実習を通して得たもの

新しい知識	100. 00%	100. 00%
知的好奇心(関心)	66. 67%	66. 67%
物事を見る視野	50. 00%	50. 00%
課題発見・解決能力	50. 00%	50. 00%
論理的思考能力	33. 33%	33. 33%
記述・表現・プレゼンテーション能力	66. 67%	66. 67%
教員や学生との交流	100. 00%	100. 00%
看護の実践能力	33. 33%	33. 33%
医療者・専門職者としての態度	100. 00%	100. 00%
看護倫理に基づいた行動	66. 67%	66. 67%
その他	0. 00%	0. 00%

授業評価アンケート結果(実習科目)

学 年			2 学年次	2 学年次	平均
学 期			前学期	前学期	
科 目 名			基礎看護学 実習Ⅱ	形態機能学 実習	
受 講 者			102名	102名	
回 答 数			82名	32名	
回 答 率			80. 4%	31. 4%	
学 生 の 自 己 評 価	1	実習に積極的に出席した。	4. 89	4. 66	4. 77
	2	実習の事前学習・振り返りに意欲的に取り組んだ。	4. 74	4. 53	4. 64
	3	実習には自主的に取り組んだ。	4. 82	4. 72	4. 77
	4	記録物・提出物の提出期限を守った。	4. 66	4. 59	4. 63
	5	看護倫理に基づいた行動をとった。	4. 80	4. 69	4. 75
実 習 方 法 ・ 内 容 へ の 評 価	6	実習オリエンテーションは実習に役立った。	4. 67	4. 72	4. 69
	7	実習要項は自分の学習を進める上で役に立った。	4. 62	4. 72	4. 67
	8	成績評価の基準について明確な説明があった。	4. 60	4. 59	4. 60
	9	実習内容は看護への興味や関心を深めるものであった。	4. 83	4. 75	4. 79
	10	実習は学生の理解度に応じて進められていた。	4. 72	4. 69	4. 70
	11	教員は学生の主体性を尊重していた。	4. 73	4. 66	4. 69
	12	教員から効果的な指導を受けることができた。	4. 67	4. 72	4. 69
	13	臨床指導者から効果的な指導を受けることができた。	4. 68	4. 66	4. 67
	14	実習場所は実習に適した環境であった。	4. 77	4. 72	4. 74
	15	授業で学んだ内容が実習によってより深く理解できた。	4. 74	4. 75	4. 75
	16	実習を通して今後の課題が明確になった。	4. 79	4. 66	4. 72
	17	実習に関する記録物・提出物等の量は適切であった。	3. 93	4. 50	4. 21
	18	実習は有意義であった。	4. 80	4. 78	4. 79
			84. 48	84. 09	84. 28

Ⅱ この実習を通して得たもの

新しい知識	96. 34%	84. 38%	90. 36%
知的好奇心(関心)	79. 27%	78. 13%	78. 70%
物事を見る視野	76. 83%	53. 13%	64. 98%
課題発見・解決能力	76. 83%	46. 88%	61. 85%
論理的思考能力	64. 63%	34. 38%	49. 50%
記述・表現・プレゼンテーション能力	51. 22%	28. 13%	39. 67%
教員や学生との交流	65. 85%	25. 00%	45. 43%
看護の実践能力	79. 27%	53. 13%	66. 20%
医療者・専門職者としての態度	68. 29%	46. 88%	57. 58%
看護倫理に基づいた行動	67. 07%	62. 50%	64. 79%
その他	1. 22%	0. 00%	0. 61%

授業評価アンケート結果(実習科目)

学 年			1 学年次	平均
学 期			前学期	
科 目 名			ヒューマニ ティ実習	
受 講 者			130名	
回 答 数			125名	
回 答 率			96. 2%	
学 生 の 自 己 評 価	1	実習に積極的に出席した。	4. 92	4. 92
	2	実習の事前学習・振り返りに意欲的に取り組んだ。	4. 88	4. 88
	3	実習には自主的に取り組んだ。	4. 82	4. 82
	4	記録物・提出物の提出期限を守った。	4. 87	4. 87
	5	看護倫理に基づいた行動をとった。	4. 78	4. 78
実 習 方 法 ・ 内 容 へ の 評 価	6	実習オリエンテーションは実習に役立った。	4. 66	4. 66
	7	実習要項は自分の学習を進める上で役に立った。	4. 62	4. 62
	8	成績評価の基準について明確な説明があった。	4. 34	4. 34
	9	実習内容は看護への興味や関心を深めるものであった。	4. 83	4. 83
	10	実習は学生の理解度に応じて進められていた。	4. 59	4. 59
	11	教員は学生の主体性を尊重していた。	4. 74	4. 74
	12	教員から効果的な指導を受けることができた。	4. 60	4. 60
	13	臨床指導者から効果的な指導を受けることができた。	4. 84	4. 84
	14	実習場所は実習に適した環境であった。	4. 80	4. 80
	15	授業で学んだ内容が実習によってより深く理解できた。	4. 83	4. 83
	16	実習を通して今後の課題が明確になった。	4. 78	4. 78
	17	実習に関する記録物・提出物等の量は適切であった。	4. 29	4. 29
	18	実習は有意義であった。	4. 86	4. 86
			85. 04	85. 04

Ⅱ この実習を通して得たもの

新しい知識	87. 20%	87. 20%
知的好奇心(関心)	82. 40%	82. 40%
物事を見る視野	78. 40%	78. 40%
課題発見・解決能力	73. 60%	73. 60%
論理的思考能力	33. 60%	33. 60%
記述・表現・プレゼンテーション能力	50. 40%	50. 40%
教員や学生との交流	60. 80%	60. 80%
看護の実践能力	56. 00%	56. 00%
医療者・専門職者としての態度	61. 60%	61. 60%
看護倫理に基づいた行動	64. 00%	64. 00%
その他	0. 00%	0. 00%

授業評価アンケート結果(実習科目)

学 年			4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	平均
学 期			後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	
科 目 名			公衆衛生看護実習	総合看護実習（基礎）	総合看護実習（治療・回復）	総合看護実習（療養）	総合看護実習（小児）	総合看護実習（精神）	総合看護実習（感染）	総合看護実習（臨床実践）	
受 講 者			15名	39名	16名	12名	5名	5名	10名	11名	
回 答 数			8名	17名	13名	4名	1名	5名	9名	1名	
回 答 率			53.3%	43.6%	81.3%	33.3%	20.0%	100.0%	10.0%	9.1%	
学 生 の 自 己 評 価	1	実習に積極的に出席した。	4.75	4.71	5.00	5.00	5.00	4.40	4.67	5.00	4.82
	2	実習の事前学習・振り返りに意欲的に取り組んだ。	4.63	4.47	5.00	4.75	5.00	4.20	4.56	5.00	4.70
	3	実習には自主的に取り組んだ。	4.50	4.47	5.00	5.00	5.00	4.60	4.56	5.00	4.77
	4	記録物・提出物の提出期限を守った。	4.75	4.59	5.00	5.00	5.00	4.80	4.56	5.00	4.84
	5	看護倫理に基づいた行動をとった。	4.50	4.59	5.00	4.75	5.00	4.80	4.78	5.00	4.80
実 習 方 法 ・ 内 容 へ の 評 価	6	実習オリエンテーションは実習に役立った。	4.50	4.12	4.77	4.25	4.00	4.60	4.56	5.00	4.47
	7	実習要項は自分の学習を進める上で役に立った。	4.38	4.18	4.77	4.75	4.00	4.20	4.56	5.00	4.48
	8	成績評価の基準について明確な説明があった。	4.38	4.18	4.77	4.25	4.00	4.20	4.33	5.00	4.39
	9	実習内容は看護への興味や関心を深めるものであった。	4.50	4.35	4.92	5.00	4.00	4.80	4.67	5.00	4.66
	10	実習は学生の理解度に応じて進められていた。	4.50	4.41	4.92	5.00	4.00	4.60	4.67	5.00	4.64
	11	教員は学生の主体性を尊重していた。	4.50	4.65	4.92	4.50	5.00	4.60	5.00	5.00	4.77
	12	教員から効果的な指導を受けることができた。	4.50	4.41	4.85	4.50	4.00	4.80	4.89	5.00	4.62
	13	臨床指導者から効果的な指導を受けることができた。	4.50	4.53	4.85	5.00	5.00	4.60	4.56	5.00	4.75
	14	実習場所は実習に適した環境であった。	4.38	4.47	5.00	5.00	3.00	4.60	4.11	5.00	4.44
	15	授業で学んだ内容が実習によってより深く理解できた。	4.50	4.24	5.00	5.00	4.00	4.60	4.78	5.00	4.64
	16	実習を通して今後の課題が明確になった。	4.50	4.35	4.92	4.75	4.00	4.60	4.67	5.00	4.60
	17	実習に関する記録物・提出物等の量は適切であった。	4.13	4.59	4.92	4.75	4.00	4.40	4.78	5.00	4.57
	18	実習は有意義であった。	4.38	4.53	5.00	5.00	4.00	4.80	4.67	5.00	4.67
			80.75	79.82	88.62	86.25	78.00	82.20	90.00	83.62	

Ⅱ この実習を通して得たもの

[illegible]

授業評価アンケート結果(実習科目)

学 年			3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	平均
学 期			後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	
科 目 名			老年看護学 実習Ⅱ	成人看護学実 習Ⅰ（急性期）	成人看護学実 習Ⅱ（慢性期）	精神看護学 実習	母性看護学 実習Ⅱ	小児看護学 実習Ⅱ	公衆衛生看護学実習Ⅰ	
受 講 者			6名	91名	91名	97名	91名	91名	15名	
回 答 数			6名	55名	80名	67名	62名	47名	7名	
回 答 率			100.0%	60.4%	87.9%	69.1%	68.1%	51.6%	46.7%	
学 生 の 自 己 評 価	1	実習に積極的に出席した。	4.83	4.40	4.54	4.51	4.48	4.64	4.71	4.59
	2	実習の事前学習・振り返りに意欲的に取り組んだ。	4.50	4.31	4.20	4.25	4.13	4.36	4.57	4.33
	3	実習には自主的に取り組んだ。	4.50	4.42	4.31	4.42	4.35	4.51	4.57	4.44
	4	記録物・提出物の提出期限を守った。	4.83	4.47	4.35	4.48	4.39	4.47	4.71	4.53
	5	看護倫理に基づいた行動をとった。	4.67	4.62	4.49	4.37	4.50	4.45	4.71	4.54
実 習 方 法 ・ 内 容 へ の 評 価	6	実習オリエンテーションは実習に役立った。	4.67	4.27	4.39	4.27	4.11	4.21	4.57	4.36
	7	実習要項は自分の学習を進める上で役に立った。	4.50	4.18	4.35	4.19	4.00	4.17	4.57	4.28
	8	成績評価の基準について明確な説明があった。	4.50	4.11	4.29	4.03	3.97	4.21	4.43	4.22
	9	実習内容は看護への興味や関心を深めるものであった。	4.83	4.24	4.31	4.34	4.16	4.21	4.71	4.40
	10	実習は学生の理解度に応じて進められていた。	4.83	4.31	4.14	4.15	4.03	4.04	4.71	4.32
	11	教員は学生の主体性を尊重していた。	4.17	4.38	4.19	4.28	4.31	4.02	4.57	4.27
	12	教員から効果的な指導を受けることができた。	4.17	4.40	4.05	3.99	4.29	3.98	4.29	4.17
	13	臨床指導者から効果的な指導を受けることができた。	5.00	4.55	4.51	4.46	4.18	4.30	4.71	4.53
	14	実習場所は実習に適した環境であった。	4.50	4.49	4.40	4.30	3.95	4.13	4.71	4.35
	15	授業で学んだ内容が実習によってより深く理解できた。	4.67	4.42	4.34	4.33	4.13	4.28	4.86	4.43
	16	実習を通して今後の課題が明確になった。	4.67	4.35	4.21	4.31	4.10	4.36	4.43	4.35
	17	実習に関する記録物・提出物等の量は適切であった。	4.17	4.04	3.83	4.28	3.69	4.06	4.71	4.11
	18	実習は有意義であった。	4.67	4.42	4.33	4.37	4.16	4.26	4.86	4.44
			82.67	78.36	77.21	77.34	74.94	76.66	83.43	78.66

Ⅱ この実習を通して得たもの

[illegible]

授業評価アンケート結果(実習科目)

学 年			2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	平均
学 期			後学期	後学期	後学期	後学期	
科 目 名			コミュニ テイ実習	母性看護学 実習Ⅰ	小児看護学 実習Ⅰ	老年看護学 実習	
受 講 者			99名	102名	102名	100名	
回 答 数			55名	60名	84名	74名	
回 答 率			55. 6%	58. 8%	82. 4%	74. 0%	
学 生 の 自 己 評 価	1	実習に積極的に出席した。	4. 85	4. 78	4. 89	4. 76	4. 82
	2	実習の事前学習・振り返りに意欲的に取り組んだ。	4. 80	4. 63	4. 75	4. 54	4. 68
	3	実習には自主的に取り組んだ。	4. 82	4. 78	4. 83	4. 57	4. 75
	4	記録物・提出物の提出期限を守った。	4. 71	4. 72	4. 70	4. 65	4. 69
	5	看護倫理に基づいた行動をとった。	4. 82	4. 68	4. 87	4. 69	4. 76
実 習 方 法 ・ 内 容 へ の 評 価	6	実習オリエンテーションは実習に役立った。	4. 64	4. 58	4. 68	4. 34	4. 56
	7	実習要項は自分の学習を進める上で役に立った。	4. 47	4. 48	4. 58	4. 45	4. 50
	8	成績評価の基準について明確な説明があった。	4. 36	4. 27	4. 43	4. 09	4. 29
	9	実習内容は看護への興味や関心を深めるものであった。	4. 55	4. 57	4. 71	4. 54	4. 59
	10	実習は学生の理解度に応じて進められていた。	4. 55	4. 45	4. 56	4. 32	4. 47
	11	教員は学生の主体性を尊重していた。	4. 62	4. 48	4. 67	4. 12	4. 47
	12	教員から効果的な指導を受けることができた。	4. 38	4. 45	4. 42	3. 76	4. 25
	13	臨床指導者から効果的な指導を受けることができた。	4. 69	4. 23	4. 51	4. 72	4. 54
	14	実習場所は実習に適した環境であった。	4. 49	4. 40	4. 73	4. 68	4. 57
	15	授業で学んだ内容が実習によってより深く理解できた。	4. 53	4. 58	4. 71	4. 53	4. 59
	16	実習を通して今後の課題が明確になった。	4. 47	4. 53	4. 60	4. 41	4. 50
	17	実習に関する記録物・提出物等の量は適切であった。	4. 56	4. 35	4. 37	4. 09	4. 34
	18	実習は有意義であった。	4. 51	4. 60	4. 71	4. 39	4. 55
			82. 82		79. 64		81. 94

Ⅱ この実習を通して得たもの

新しい知識	80. 00%	90. 00%	89. 29%	75. 68%	83. 74%
知的好奇心(関心)	74. 55%	71. 67%	70. 24%	60. 81%	69. 32%
物事を見る視野	78. 18%	51. 67%	72. 62%	59. 46%	65. 48%
課題発見・解決能力	56. 36%	41. 67%	55. 95%	60. 81%	53. 70%
論理的思考能力	36. 36%	31. 67%	34. 52%	32. 43%	33. 75%
記述・表現・プレゼンテーション能力	41. 82%	35. 00%	16. 67%	29. 73%	30. 80%
教員や学生との交流	49. 09%	38. 33%	35. 71%	33. 78%	39. 23%
看護の実践能力	30. 91%	33. 33%	22. 62%	47. 30%	33. 54%
医療者・専門職者としての態度	40. 00%	56. 67%	38. 10%	48. 65%	45. 85%
看護倫理に基づいた行動	41. 82%	58. 33%	42. 86%	47. 30%	47. 58%
その他	3. 64%	5. 00%	1. 19%	1. 35%	2. 79%

授業評価アンケート結果(実習科目)

学 年			1 学年次	平均
学 期			後学期	
科 目 名			基礎看護学 実習 I	
受 講 者			130名	
回 答 数			102名	
回 答 率			78.5%	
学 生 の 自 己 評 価	1	実習に積極的に出席した。	4.92	4.92
	2	実習の事前学習・振り返りに意欲的に取り組んだ。	4.90	4.90
	3	実習には自主的に取り組んだ。	4.89	4.89
	4	記録物・提出物の提出期限を守った。	4.92	4.92
	5	看護倫理に基づいた行動をとった。	4.77	4.77
実 習 方 法 ・ 内 容 へ の 評 価	6	実習オリエンテーションは実習に役立った。	4.84	4.84
	7	実習要項は自分の学習を進める上で役に立った。	4.79	4.79
	8	成績評価の基準について明確な説明があった。	4.63	4.63
	9	実習内容は看護への興味や関心を深めるものであった。	4.89	4.89
	10	実習は学生の理解度に応じて進められていた。	4.75	4.75
	11	教員は学生の主体性を尊重していた。	4.86	4.86
	12	教員から効果的な指導を受けることができた。	4.91	4.91
	13	臨床指導者から効果的な指導を受けることができた。	4.91	4.91
	14	実習場所は実習に適した環境であった。	4.87	4.87
	15	授業で学んだ内容が実習によってより深く理解できた。	4.89	4.89
	16	実習を通して今後の課題が明確になった。	4.92	4.92
	17	実習に関する記録物・提出物等の量は適切であった。	4.66	4.66
	18	実習は有意義であった。	4.89	4.89
			87.25	87.25

Ⅱ この実習を通して得たもの

新しい知識	90. 20%	90. 20%
知的好奇心(関心)	79. 41%	79. 41%
物事を見る視野	80. 39%	80. 39%
課題発見・解決能力	73. 53%	73. 53%
論理的思考能力	46. 08%	46. 08%
記述・表現・プレゼンテーション能力	43. 14%	43. 14%
教員や学生との交流	79. 41%	79. 41%
看護の実践能力	72. 55%	72. 55%
医療者・専門職者としての態度	69. 61%	69. 61%
看護倫理に基づいた行動	57. 84%	57. 84%
その他	0. 00%	0. 00%